〔大正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可〕 (日刊) 昭和八年十二月二十八日 新京日日新聞 (木曜日) 第三千九百四十三號 (夕刊)(一)

新京日日新聞
夕刊
十二月廿七日(水)

昭和八年の回顧 (㈦)

支那軍停戰申込から 武藤元帥長逝へ

最後にコヨミをめくりて (B)

五月

▲三日武藤關東軍司令官に元帥號を賜ふ
▲八日長城全線で日支兩軍大衝突
▲十二日ロンドン經濟會議組織委員會で留保附で關稅休日案承認に決定
▲十五日日支關稅互惠條約廢棄さなる
▲十六日米國大統領戰爭排擊の重大聲明を發す
▲十七日支那側我軍に停戰を哀願
▲十八日我軍密雲に入城
▲二十日大阪地下鐵開通▲北平にて支那兵我步哨を狙擊す
▲二十二日齋藤首相さの會見で高橋藏相留任に決定政界の暗雲一掃さる▲我軍北平に迫り支那側停戰を申込み來る
▲二十三日新京署日高刑事李巡捕匪首劉振國の兇手に斃る
▲二十四日石井全權米國大統領さ公式會商開始
▲廿五日文官分限委員會で京大瀧川教授休職に決定▲支那側首腦部支那軍に平津以東の地區まで撤退を命ず
▲廿六日東支鐵道紛爭處理に關する我政府の對露回答手交▲馮玉祥、方振武さ相呼應して反蔣の火の手をあげ蔣光鼐、蔡廷楷等も兩方に於て反蔣通電を發す
▲廿七日中央軍反蔣軍平津線で衝突▲シカゴで博覽會開かる
▲廿八日新京滿洲國監獄で囚人大破獄を企て七十五名逃走す▲滿洲國江防艦隊五隻竣工
▲廿九日閻錫山反蔣通電を發す▲パリ全商店課稅案に抗議の意味で三時間總能業をなす
▲三十日日支停戰交涉塘沽で開始▲ダンチッヒ內閣辭職
▲三十一日日支停戰協定成り塘沽で正式調印二年間の戰雲此處に一掃▲ボグラの直通運輸斷決行

六月

▲四日米國大統領の平和保障に關する提案を我政府原則的に承認す▲西藏獨立を宣言
▲五日滿洲國々務會議で金輸出禁止を可決す
▲六日印度政府日本品を目標に又も綿布關稅引上ぐ
▲七日濱松飛行第七聯隊火藥庫爆發死傷者多數を出す▲四國協定案ローマで英、佛、獨、伊三國大使さイタリー外務當局との間に假調印
▲八日德川貴族院議長辭表を提出▲第十七回國際勞働會議總會開會米國始めて參加
▲軍縮一般委員會で將來の基礎案さして英軍縮案可決▲ドイツ政府モラトリアム令公布
▲九日貴族院正副議長更迭議長近衞文麿公、副議長松平賴壽伯▲石井全權一行ロンドン着日本は欣然世界さ協力する旨聲明
▲十一日馮玉祥の反蔣運動失敗に歸し現職を去り張家口に退去に決定
▲十二日世界經濟會議ロンドンで開會
▲十三日紡績聯合協議會で印棉不買の聲明發表▲第二次共產黨の佐野鍋山轉向
▲十七日廣東特別市罌粟滿洲國特產物輸入禁止令を發す
▲十九日植田謙吉中將參謀次長に補さる
▲二十七日シャムの六月革命派政府を顚覆しパホル、ポラパユハナ佐首席執政官さなる
▲二十六日漁夫殺害事件に關し露國から逆抗議を提出し來る▲北滿鐵道權全買收に關する日、滿、露三國交涉東京で開始▲馮玉祥再び反蔣方振武に沽源討伐を命ず
▲二十七日廣東に日本を盟首さする大アジア聯盟結成運動起る
▲二十八日關稅休日協定御諮詢案樞密院本會議で全會一致で可決
▲二十九日露國白海さバルチック海を連結する大運河ベロモルバルチック運河完成

七月

▲一日ハルビンの特別市制實施▲英露協定成立▲ドイツのトランスファー、モラトリアム實施▲露國を中心に八ヶ國不可侵條約ロンドンで調印▲日貨一律に二厘方利下實施
▲六日黑龍江旅行中の滿洲國汽船搭乘兵露國警備隊に拉致さる
▲七日露國の巡邏船カムチャツカで我琴平丸を拿捕外務省から嚴重に抗議す
▲八日對馮玉祥抗日軍多倫に迫り滿洲國軍さ交戰
▲十一日滿洲國駒井參議建國以來の功績を殘し辭職
▲十二日關東軍司令部第四課長坂田大佐長逝
▲十三日佛國政府支那海の九島嶼が佛國領土たる旨宣言
▲十五日外務省で文治工作遂行の爲宣撫局新設に決定▲英獨佛伊四國協力條約ローマで正式調印
▲二十日滿洲國河海輸出入稅則改正公布
▲二十一日滿洲國產業學徒研究團奉天會館開式舉行
▲二十四日五、一五事件海軍側大公判、橫須賀鎭守府軍法會議で開廷
▲二十五日五、一五事件陸軍側公判第一師團司令部高等軍法會議法廷で開廷
▲二十七日武藤軍司令官薨去▲支那廬山會議の結果日本に對する長期抵抗の方針を決定公表▲經濟會議最終本會議開催無期休會さなる
▲二十八日日選間の仲裁々判條約締結に兩國政府諒解成るまた滿洲さも通商協定交涉開始の諒解なる▲關東軍の滿洲軍再編成、第二、第三の獨立守備隊編成に決定▲關東軍司令官後任に菱刈大將親補

八月

▲一日湯玉麟また滿洲國政府に歸順を嘆願す▲英國空軍インドパタンーール族の本據爆擊を開始す
▲二日我陸軍首腦部英米並に國聯の對支援助に對し全面的抗爭繼續を決意▲滿洲事變論功行賞發表▲故武藤元帥追悼會日比谷で行はる▲キューバ大統領マカド氏に對する民衆の不滿から大罷業起り全島混亂、軍隊さ民衆衝突死傷者五千名
▲三日松岡政和また〳〵新京總領事館家刑務所を破り逃走す
▲八日我關東軍長城以南から長城線に復歸完了
▲九日新京に於て日本新聞協會大會第二日が行はる▲滿洲國李守信軍遂に多倫を奪還す
▲二十二日菱刈軍司令官新京に入る
▲二十三日本社主催第一回排球大會舉行

關東廳特別會計 九年度豫算

〔東京國通〕二十五日の閣議で決定した特別會計昭和九年度の豫算中關東廳の分は次の如くである (單位千圓)

歳入	經常部	一六、〇七九、〇四〇
	臨時部	六、八三五、〇一八
	補充金	五、〇〇〇、〇〇〇
	前年度剩餘金繰入	一、四六四、七八九
	其の他	三六七、二二九
	計	三二、九二一、〇三八
歳出	經常部	二六、〇三五、三三五
	臨時部	六、八八五、七〇三
	計	三二、九二一、〇三八
差引(過不足なし)		

外國郵便料金 滿洲國で發表

滿洲國政府では二十六日外國郵便貯金を左の如く發表した
書狀二十瓦迄一角同以上二十瓦又は其端數毎に六分
葉書通常六分、往復一角二分
新聞紙類五十瓦毎に二分
書籍、印刷物業務用書類五十瓦毎に二分、但し業務用書類は二百五十瓦迄一角、以上五十瓦又は其端數毎に二分
盲人用點字又は凸字書類一瓩毎に二分
商品見本百瓦迄四分以上五百瓦迄は五十瓦又は其端數毎に二分
價格表記書狀物二十瓦迄以上二十瓦又は其端數毎に六分二百五十瓦迄五角六分、以上五十瓦又は其端數毎に八分

特殊取扱料金

別配達料四角書留料通常書留一角六分配達證明書留二角二分
價格表記料三百「フラン」二角代金引換料基本料二角、及引換金額二迄毎に一分

高山東拓總裁重任

〔東京國通〕廿七日で任期滿了の高山東拓總裁は拓相等の懇望により、重任を承諾廿八日上奏御裁可を得て辭令の交付である

日滿戀曲 生命線を行く (上海上映)

國友雄吉 (荒川芳三郎畫)

(五十三)

不快な觀光

「僕は、さつき東京驛で、第二の號外を見て來ましたが、まだ詳細は判明して居りません。チチハルには、日本軍が駐屯してゐることだし、大した不安は無いだらうと思ひますけれど——」

伸一は强ひて、自分で自分を慰め、力づけやうとするやうに云つた。

「ちやうど、好いお方と乘り合して、僕は非常に幸ひでした。あなたは、彼地の地理は無論お詳しいでせうが、その、日本軍の駐屯してゐるチチハルと、滿洲里との間の距離は、どれくらゐあるんでせう?」

「さうですね。近いといつても、汽車で行けば、十五時間は、かゝるでせう」

「十五時間? なか〳〵ありますね。それが、イザといふ場合には、間に合ふのでせうか」

「それは、なんとも分りません。若し支那軍の動亂が、計畫的に行はれたものだとすれば、彼等の狙ひに觸れるのは、わが日本軍の出動でせうが、あるひは、電話線を切斷しやしないかと思ふんです。支那兵は、さういふことには、なか〳〵拔け目がありませんからね」

「さうなると、在留同胞は、どうなるでせう。時節柄、心配でなりす」

「——滿洲國政府から出張して來てゐる、官憲といふのもありますが、假分にも人員も少數だし、惡くすると、反つて在留邦人を、危險に導く虞があるので、無暗に反抗も出來ないだらうと思ひますよ」

伸一は、再び、不安と憂慮から來る惱みを、その胸先に感じた。

「お子達はお幾人ですか」

「二人です。まだ幼く、五つになつた男の子と、妻と二人きりです」

「それは、嘸々御心配ですね。あなたは、何處か、役所にでも、お勤めですか」

「イエ、僕は、或る商館の社員です」

「東京のお宅は——?」

「駒込林町の氏家です」

「氏家さん——左樣ですか——僕は——」

と云ひかけて彼の男は、しきりにポケットを探つて、名刺でも、取り出さうとする樣子であつたが、見當らなかつたとみえて、それは止めにした。

「——僕は、楠本と申します。どうか宜しく——」

それで、二人はすつかり、懇意になつてしまつた。

しかし伸一は、この男に對して格別、何の興味も湧いて來なかつた。只、姓を楠本と、名乘る男だと聞いただけで、それ以上、その住所だとか、職業だとか、そんなことまで深く詮索しやうとは思はなかつた。

楠本は、その談話の中に、「僕は、初めての滿洲行きで、今フベリ土地不案內で困つてゐるんです。お邪魔でなかつたら、どうか御一緒に、連れて行つてください」

さういつて、頻りに賴んだのであつた。

伸一は、格別迷惑さうでもないといふ人間では無し、殊に同情もしたし、又反つて、氣も紛れて宜いだらうと思つたので快よく、それを承諾した。

そして、汽車が神戶へ來るまでの間に、二人はもう、可なり打解けた間柄になつてゐた。

しかし伸一には、楠本と名乘る此の男の正體が、容易に摑めなかつた。

官吏。醫者。辯護士——?、そんなものでは無し、擧げた點はみつても實業家とは違つてゐるやうだし。そして、服裝や擧動から推測すると、さまで賤い生活の人だとも思へなかつた。

只伸一が不快に思つたのは、彼の眼であつた。人を見る時に、チョイ〳〵と、陰險な光りを閃かす。それがどうも、何か、惡黨の眼めまでもあるかのやう、「油斷の出來ない人物だ」といふやうに、思はれてならないだけが、多少の氣がゝりであつた。

二人は、神戶から、汽船に乘る筈であつた。

汽車が神戶へ着いたのは、夜師であつた。

未曾有の御慶事を全世界に向け放送
廿八日午前七時から三十分　先づ米國から希望

〔東京國通〕皇太子殿下御降誕は我日本にとつて此の上ない御慶事として放送局では國際交換大奉祝放送を

＝計畫＝

し、各國でその手配を行ふ筈であつたが一足先に米國より二十六日朝日本に於ける御慶事放送の提供方を申し込んで來たので放送局では渡りに船と大喜びで早速承諾、二十八日午前七時から七時半まで約半時間に亘つて國內と同時に米國N・B・C局に向け放送することに決定二十七日そのテストを行ふことになつたが、プログラムは先づ新交響樂團の「君が代」に次いで英語ニュース擔任のエドガース氏が米人記者の觀た歡喜に渦巻く日本の情況を放送し續いて新交響樂團の越後獅子拔萃曲などを放送するが、N・B・C局では米全國に中繼するる筈で、時間もホノルル、サンフランシスコ、其他共よく

東京中央放送局では非常に

＝力瘤＝

を入れてゐる、尚國際御慶事放送はこれを皮切りに歐米各國とそれぞれ行はれる筈である

親王御降誕 賀表文案可決
―貴院本會議―

〔東京國通〕天皇陛下還行後の貴族院本會議は二十六日午前十一時三十分開會、近衛議長は奉答文案を朗讀し滿場起立で賛成、次で近衛議長は親王御降誕の賀表文案を左の通り朗讀し滿場賛成し同十一時四十分散會した

貴族院賀表文

議長臣近衛文麿誠歡誠喜頓首頓首

親王御降誕アラセラルコト洵ニ國礎益々堅シ臣文麿悦ノ至ニ任ヘス謹テ上奏賀表ス

皇太子御養育の保姆 二名選任さる

〔東京國通〕皇太子殿下御養育の光榮に浴する保姆として會計檢査院第四課長檢査官清原德次郎氏妻女しげ子（一九）さんと三浦きく子（二三）さんが選ばれた

聖上陛下 各國皇帝元首に 御披露御通知

〔東京國通〕天皇陛下には皇太子殿下御誕生遊ばされたるに對し、各國の皇帝や元首に御披露の爲御通知遊ばされる事となり、宮內省式部職でお形式及び樣式研究中であるが御披露親書御發送は明治以來これが初めてであり、邦語の御親書へ特に佛譯が附されることとなる

天津は大提灯行列
御命名式當日

〔天津廿七日發國通〕廿九日の皇太子殿下御命名式當日天津居留民は祝賀のため總出の大假裝提灯行列を舉行する事となつた、尚天津總領事は當日官規儀禮により帝國政府を代表し、日本倶樂部に於て居留民の祝賀を受けることとなつた

開院式勅語

〔東京國通〕第六十五回帝國議會開院式に際し開院に賜りたる勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和九年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協賛ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

二十七日の 貴衆兩院

〔東京國通〕廿七日の貴衆兩院議事順序左の如し

△貴族院　午前十時開會先づ近衛議長より廿六日參內天皇陛下に拜謁仰付けられ、奉答文を捧呈したるに陛下より優渥なる勅語を賜りたる旨を報告、會員起立の中に之れを奉讀した、後德川前議長に對する感謝決議をなし、次いで恒例により各院委員長常任委員の選擧を行ひ散會するが、常任委員の一部は委員長の選擧をも爲す筈で年內は當日で休會となる筈

△衆議院　午前十時開會秋田議長より廿六日參代奉答文を捧呈したるに陛下より優渥なる勅語を賜りたる旨を報告全員起立の中にこれを奉讀次いで秋田議長より衆議院議員の辭任を申出でた松岡洋右氏に關し「松岡君は辭任を申出でたので議長は前例に依り同君に勸告したがこれを容れなかつた」旨を述べこの辭任を許すや否やを諮り決定した後各院委員長及常任委員の選擧を行ひ散會、常任委員は別室にて夫々委員長の互選を爲す筈で年內の衆議院はこれで終了し來る一月二十二日の休會明けを俟つて政戰舞台に入る筈である

貴族院 勅語奉答文

〔東京國通〕貴族院勅語奉答文

貴族院議長臣近衛文麿誠恐誠惶謹テ叡聖文武　天皇陛下ニ上奏ス

茲ニ第六十五回帝國議會開院式ノ盛典ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ給フ臣等謹テ叡旨ヲ奉體シ愼重審議協賛ノ任ヲ竭シ以テ皇猷ヲ賛襄セムコトヲ期ス臣文麿恐懼ノ至リニ任ヘス謹テ奉答ス

衆議院 勅語奉答文

〔東京國通〕衆議院勅語奉答文

恭シク惟ルニ車駕親臨シテ茲ニ第六十五回帝國議會開院ノ式ヲ擧ケサセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ任ヘス臣等愼重審議協賛ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス

衆議院議長臣秋田清誠恐誠惶謹ミテ奏ス

貴族院で 前德川議長へ 感謝決議案上程

〔東京國通〕貴族院では明日本會議へ德川前議長感謝決議案上程可決、提案理由は一條實孝公說明する

納めの閣議

〔東京國通〕本年納めの廿六日の定例閣議は午前中貴族院に於て第六十五議會開院式舉行の關係で午後一時半より開會、齋藤首相以下全閣僚出席先づ高橋藏相より明年度特別會計豫算の査定內容に就き、來年度より遞信省所管の通信事業を特別會計に移す事となつた旨を說明し正式に之を審議決定し、次で齋藤首相より前後七回に亘つて開かれた內政會議に就き槪括的な報告があり、更に後藤農相より廿二日の內政會議に於て協議したる農村對策、即ち

一、農村精神の作興
二、農村共同組織の徹底
三、農家負擔の輕減
四、重要肥料の統制
五、蠶絲對策

以上五項目に關する申合せの內容を詳細說明承認を求め尚一般政務に就ても協議したが本年の定例閣議は本日を以て最終として緊急重要問題の發生せざる限り年內は閣議を開かない豫定である

蘭領印度の 關税引上げ
オランダ議會を通過

〔東京國通〕廿六日スラバヤよりの某所入電に依れば蘭領印度の輸入關税引上げ案は今回オランダ議會を通過したが右は現行率一割二分を最高二割に引上げるもので、賦課税は五割である

北支那協會創立

〔東京發國通〕北支の經濟的特異性に鑑み、通商關係の圓滑を期するため元外相芳澤謙吉氏を會長とする北支那協會は二十六日支那關係者、實業界巨頭多數參集し盛大な創立總會式を擧げた

アジアに住む我々は アジア人の力に依つて生きよ
廣東アジア協會から叫ぶ

〔ハルビン國通〕アジア主義の旗の下に集る目覺めたる民衆はアジア民族大同團結に活躍を續けつつあるが最近廣東アジア協會は當地滿洲國民衆に左の如き同會の宣傳文を齎した模樣である

我々アジア民族は一致團結し歐米資本の侵入を防止せよ、我々は滿支の豐富なる資源を開發せば日本工業の力はこれを加工する互惠關税の制定を見れば有無相通じ相互の利益は齎らされ徒らに歐米資本の爲めに利益を國外に持出されることはない、アジアに住む我々は我々の力によつてのみ生くべきである

ハルビン及 傅家甸に
朝鮮人の飛躍的增加

〔ハルビン國通〕滿洲事變前二千人未滿の主として勞働者のみであつた在哈朝鮮人は、其後飛躍的に增加し十一月末現在では戶數一千二百四十、人口五千六十五人（內女二千三百四十五人）に達し、職業も事變前に比し俸給生活者が著しく增加を示してゐるが、之は各種機關の擴充等に原因する當然の結果で、居住地は傅家甸の鮮人街が最も多く戶數四百九十八、人口千八百廿五人である、尚之等のものの生活は依然困窮せるものが多いが、思想的には穩健で所謂不逞の徒は漸次減少しつつありと云はれ、喜ばしい傾向を示してゐる

菱刈軍司令官 歸京

〔東京〕關東軍事務檢閲の爲旅大方面に滯在中であつた菱刈軍司令官は、廿六日午後七時半着列車で辰巳參謀、今岡副官等を帶同歸京した、驛頭には小磯、岡村正副參謀長を始め田代憲兵司令官、多田少將、吉澤總領事、其他新京軍將星多數出迎へあり、差廻しの自動車で直ちに官邸に入つた

外務辭令

〔東京國通〕外務省情報部第二課長筒井潔氏の在滿大使館轉勤に伴ふ異動は左の如く發令の筈である

任外務書記官　田代重德
命情報部第二課長
外務省書記官　筒井潔
任大使館二等書記官
命滿洲國在勤
外務事務官　佐藤忠雄
命情報部第三課長

福州爆擊機航空士は 某國教官か？

〔東京國通〕二十六日確實なる筋に達した情報によれば中央軍飛行機五臺の編成を以て福州を爆擊し爆彈二十個を投下、其中命中した主なる建物は大調堂だけであつたが、人民の殺傷數は相當に上るものと傳へられて居る、尚中央軍飛行機は空中から「引續き爆擊を行ふ故住民は速に避難せよ」云々」とのビラを同時に撒布したが右爆擊機は溫州飛行場から飛來したものとも見られ該飛行機の操縦振りや爆彈命中率から見てかねてから招聘中の某國教官が乘り込んで居たものとの說が一般に信ぜられて居るのは注目されて居る

中央軍 作戰完了し 進擊開始

〔上海二十六日發國通〕連日空爆を敢行して福建軍の後方攪亂に努めた中央軍は作戰計畫着々進捗したので積極的行動を起すに決し先づ二十五日第五十六師に對し延平古田の線に向け進擊を命じたが、同方面には福建第一方面軍沈光漢の部隊が守備し居り、會戰は目睫に迫つてゐる

蔡廷楷暗殺と 爆擊を恐れ 外人居住區域に移轉

〔福州國通〕今二十六日午前一時闇に紛れて省政府に向けピストル二發を發射して逃走せる者あり、衛兵追跡せるも逮捕に至らず、右は藍衣社員の後方攪亂を企圖せる者の所爲と觀られて居る、尚蔡廷楷氏は爆擊と藍衣社員の活動に身の危險を感じ二十五日夜外人居住者多き南台の蒼前山に引移つた

中央艦隊の 主力
福州へ向け出動

〔上海廿七日發國通〕吳淞口に碇泊待機中だつた中央海軍の主力軍艦、應瑞、寧海の三艦は昨日中央の命を受け、福州に向け出動した、第一艦隊司令陳季良も近く作戰のため出動の筈である

空爆を恐れ 人民政府南臺に移轉
政府各機關は夕刻より夜勤

〔福州廿六日發國通〕中央軍の連續的爆擊に遭ひ福州住民は恐怖のどん底に陷つたか、昨夜に至り人民革命政府は總督署より外人の居留多き南臺に移轉し、事務は午前十一迄とし、又政府各機關の事務は午後四時より九時迄で其他の時間は各要人達は何れかに姿を消してゐる

貨物列車の 運行取消し

拉賓線は既報の通り來月十日から營業開始と決定したがこれに伴ひ同線並びに京圖線內における輸送に對して乘務員及び牽引機關車の配備充實を急ぎつつあるがこれがため直ちに左記區間貨物列車の取消を行ひ乘務員機關車の移し換へを實施することとなつた、即ち取消列車及び區間は次のものである

取消區間	列車數
泰安　洮南間	一
洮南　四平街間	二
朝陽　滿溝間	二
皇姑屯　山海關	一
大虎山　彰武間	一
溝幇子　營口間	一
錦縣　北票間	一

なほ

一、洮昂鐵路貨物機關車五輛を四洮線に配置換へ、乘務員九組を拉賓線濱綏區に派出

一、四洮鐵路貨物機關車十四輛中七輛を拉賓線新站機關區に他の七輛を京圖線蛟河機關區に廻送、乘務員十組を拉賓線機關區に派出

一、瀋海鐵路貨物機關車六輛を拉賓機關區に廻送乘務員四組を拉賓線機關區に派出

一、奉山鐵路貨物機關車三輛を瀋海線新站機關區に派出

右記乘務員一組とは機關士一名、機關助手二名、車掌一名をもつて組織されるものであるなほ機關車の廻送及び乘務員の派出は年內に指定地に到着するやう手配中である

武藤家襲爵せず
故元帥の意志により 宮內省より發表

〔東京國通〕滿洲國育ての親と慕はれた故武藤元帥はかねて一代華族論の主張者であつたが其の意志により武藤家は襲爵せざることとなり二十六日宮內省よりその旨發表された

邦人一名 紅軍に殺さる

二十六日午前五時ごろ金川縣樣河子に紅軍數十名來襲暴行を振ひ警察隊と交戰時余に渡り退却したが邦人金子某は殺害された

脫税品蔓り 奉天市場恐慌

〔奉天國通〕滿境方面に於ける脫税品は最近奉天市價を著しく攪亂し、之がため各地市況に多大な影響を與へ、正常なる取引を害しつつあるが、又近來の不況に依り奉天に於ける個人商人の投賣甚しく各地に惡影響を及ぼしつつあり各地當局者は之が防禦對策に就き種々考究中である

手小荷物の渡場 等變更

新京驛では小手荷物引渡場、事務所の增改築のため一、二等旅客待合室で手小荷物の事務引渡しをなし一、二等旅客待合室は前の憲兵派遣所跡に移轉してゐたが、この程手小荷物事務所が竣工したので二十日から事務所、引渡場ともに元の處に移轉したが、二十七日から今までの手荷物事務所即ち元の一、二等旅客待合室は二等旅客待合室とし今までの一、二等旅客待合室即ち元の憲兵派遣所跡は婦人待合室とし婦人待合室の隣には便所、化粧室あり、今まで小荷物置場所にしてゐた元守備隊、停車場司令部のあつた即ちこん度の二等旅客待合室の部屋を一等旅客待合室に模樣換へをなした

人事往來

▲中川良長氏（男爵）二十六日午後四時四十分着奉天から
▲水野三等軍醫正外四名（拉法分院附）二十六日午後四時着吉林から
▲佐々木中佐（哈爾賓淀泊所司令官）午後四時三十分發奉天へ
▲林工兵少佐（綫區司令部）同上大連へ
▲菱刈大將（關東軍司令官）十六日午後七時三十分着大連から
▲萬城目少佐（同上副官）同上
▲渡邊三等主計正（關東軍司令部付）同上安東から
▲增川三等主計正（同上）同上
▲里見中佐（步兵第〇〇聯隊）二十七日午前七時着安東から同日午前八時三十分發哈市へ
▲田中騎兵少佐（軍政部顧問）七日午前八時三十分發哈市へ
▲石田又次氏（外交部事務官）同上
▲田中中佐（關東軍參謀部）二十六日午前九時發內地へ

團体

▲海軍大學々生二十九名二十九日午前八時來京三十日午前八時三十分發哈市へ
▲文教部員二十七名二十六日午後十時發奉天へ同上十七名二十六日午後七時四十分發四平街へ

哈爾賓學院の 御眞影過京

畏きあたりから哈爾賓學院へ御下賜された御眞影は二十七日午前八時三十分發列車で吉田富藏氏が捧持して哈爾賓へ向つた

田中中佐榮轉 離京

參謀本部附に榮轉した關東軍司令部第三課田中中佐は本日午前九時發列車で小磯參謀長岡村參謀副長等の見送りを受けて離京した

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

紐育銀塊	四三仙三分一
米英爲替	五弗一五仙〇〇〇
米日爲替	三一弗一三仙
米支爲替	三四弗三五仙
スチール株	四七弗四分一
アナコンダ株	一三弗八分五

現物	一月限	三月限	五月限	七月限	九月限	十一月限
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲上海標金

米寄	步値
[illegible]	[illegible]

▲上海日本向　第一回　第二回　[illegible]

▲上海倫敦向　賣値　買値　[illegible]

▲上海紐育向　賣値　買値　[illegible]

▲大連金鈔票　現物　寄付　[illegible]

各地市場

▲大連上海向　[illegible]

▲大連煙台向　[illegible]

▲阪神日米爲替　第一回　[illegible]

▲大阪株式　大株　新株　新紡　同鐘紡　[illegible]

▲同短期　新　新　新　[illegible]

▲大連株式　大鐘東　[illegible]

▲大阪三品　當限　先限　[illegible]

▲大阪棉花　當限　一月限　二月限　三月限　四月限　五月限　先限　[illegible]

▲橫濱生糸　當限　先限　[illegible]

▲神戶豆粕　當限　先限　[illegible]

▲大連特產　一月限　二月限　[illegible]

●麻袋　●大豆　●豆粕　●豆油　●高粱　現物　一月限　二月限　三月限　四月限　[illegible]

新京市況

特產現物：大豆　高粱　小豆　[illegible]

錢鈔：鈔票對金票　現大洋對金票　國幣對金票　現大洋對鈔票　[illegible]

數字が示す

本年土建界の殷盛

一日平均一萬五千八百廿人が働いた計算になる

景氣のバロメーターと云はれてゐる新京土建事業は、昭和八年一月から年末までに、驚くなかれ民間、官廳合して千四百十九萬圓、その中苦力に支拂はれた勞賃らが四百十九萬六千圓に達しさすがに新京景氣を反映してゐる。即ち官廳方面四百三十五件の六百八十九萬圓で、昨年の百六十一件に比し約三倍の増加、附屬地內民間三百九十二萬圓（住宅二百件、附屬地外民間百七十萬圓（住宅二百八十件倉庫二十棟）官廳方面官材百六十八萬圓、合計千四百十九萬圓の巨額に達し、昨年の八百余萬圓に比し、素晴しい躍進振りである。すてそれだけの工事にどの位の人夫が使用されたかと見ると土木八十萬人、建築二百三十四萬八千面、煉瓦工三十七萬五千人、計三百六十萬三千人で、技術者百七十六萬三千七百五十人、土工百八十四萬九千二百五十人、一日平均一萬五千八百二十人の人間が働いてゐるが、それ等に支拂はれた勞賃は

土木工　八十一萬六千圓
建築工　三百十萬圓
煉瓦工　二千八萬圓
總計　四百十九萬六千圓

である、今年は冬季から苦力を新京に集めて使用したが、八、九月の最盛期に需要増加して勞賃の騰貴を來し、一月と現在を比較すると、總体的に七十七％の騰貴となつてゐるさてそれ等の工事に使用された材料はと見ると

砂　二萬二千六百五立方坪　四十萬圓
煉瓦　一億本　百五十萬圓
洋灰　五十五萬袋　百萬圓
石灰　二萬瓩　二十三萬圓
木材　四千六百車　四百十萬圓
砂利　百二十四立方坪　三十萬圓
計　七百五十三萬圓

が消費され、それ等の材料を運搬するため年間三十三萬一千台、一日平均千四百台の馬車が動いたわけで殊に國都建設局の地域は一雨降れば、道路が惡化し、馬車の運行不能となつて、材料運搬に故障を來し、遂に、當初一頭挽二圓二十錢二頭挽二圓五十錢であつたものが四十％騰貴して、一頭挽三圓、二頭挽三圓五十錢となつた

時の觀念に乏しい 新京人の弊風

近ごろそれが殊に甚しい

新京人士が時に對する觀念の乏しく最近殊にそれが甚しいやうだ。公の會合は勿論宴會などになると三、四十分は普通、一時間、一時間半と遲れて漸く顏が揃ふと云ふ有樣、そのため迷惑を蒙るものが非常に多く何とかならぬものかと非難の聲が昂まつて來た。どうも一部の人々の間に宴會などによばれて定刻に顏を出すのを避け殊更遲れて參會するやうな傾きがあるが之は嗤ふべきことだ。招かれた定刻に遲れぬやうにしてこそ主人に對する儀禮であり決して御馳走になるのだからと云つて定刻に遲れて見榮になりはしない、要は公の會合でも宴會でもお互汽車に乘るつもりで時刻を守つたらこの弊風は矯められるだらう

明二十八日 故貴志囑託の追悼會

—遺書も當日發表の模樣—

故關東軍囑託、大阪三品取引所專務理事貴志彌四郎氏が鎮釜聯絡船「慶福丸」から謎の投身自殺を遂げて以來關東軍に於ては氏の生前の功績並に人格を想ひ何等かの方法で敬弔の意を表したいと考へて居たが來る二十八日二、七に相當するので關東軍特務部が主催となつて同日午後四時新京曙町四ノ四曹洞宗大正寺で故人の追悼會を催すことゝなつた尚故人が死の直前認めた特務部沼田參謀、東福主計宛の遺書は當日追悼會に先立ち發表される筈であるが之で死の動機が明らかとなるものと見られて居る

限り無き

—皇太后陛下の御仁慈

癈兵に御一封御下賜

【東京國通】皇太后陛下には國難に一身を捧げて名譽の—戰傷—を得不幸生れもつかぬ不具者となつた氣の毒なる癈兵の身の上に御同情を寄せられ、廿六日癈兵御救恤の思召しを以て陸海軍並に內務省管下の右事業費御補助として金一封金一萬圓の御沙汰あり、柳川次官はお三省を代表して午後二時大宮御所に伺候し、入江大夫より御下賜金を拜受感激して退下した　皇太后陛下には　皇后陛下にあらせられた頃より尊き御身にあり乍ら極めて御質素に御日常の御衣食を御節約遊ばされ御手元金を積立て給ひその中より昭和五年以來十ケ年繼續にて不治の病、癩病患者御救濟として年々御下賜金を賜はつてあるがこの度更にこの有難き御沙汰あり—限り—無き御仁慈の程に側近者を初め關係者一同感激の涙に咽むでゐる

石川洋行の 橫領店員逮捕

市內八島通四十番地石川洋行こと石川良房氏方店員石井稔(二〇)は得意先から現金三百五十圓を橫領消費し行方を晦してゐたところ廿六日午前十時ごろ新京署員に逮捕された

巡査巡捕通譯試驗

二十七日午前九時より十一時迄新京警察署に於て巡査巡捕の支那語及び日本語の通譯檢定試驗を施行したが受驗者八十名あり試驗の結果一等より十等迄の通譯等級により月俸の外手當を支給されること

松の内を—どうして過すか

新京知名士に聽く（◯）

正月、舊年一年間の垢をサラリと洗ひ落して「新年の御慶を目出度く申し納め候」と、年始回禮で、天下晴れて千鳥足の醉態を現出、何も彼もお目度づくめの正月を人々は一体どうして暮す、先づ新京の名士の新年のプランを聞いて見る

商工會議所副會頭 四戸友太郎氏 新京で正月します、子供が今病氣で滿鐵病院に入院してゐますから

新京高等女學校 江部校長 お正月の休みは毎年家にばかりゐます先づお客の接待と年賀狀書きで結構忙しいものです、卒業生などから頂いた賀狀の返禮は毎日々々その日分を書いて出します……いや別にもらつた分にしか出さぬといふのではない、もう五百枚は書いて出したよ。自分は一年を通じてゆつくり家庭で小供と遊ぶやうなことが出來ないからお正月だけはゆつくり小供と遊びたい、

室町小學校 同會頭 石崎廣次郎氏 新京で正月します

同理事 大垣鶴藏氏 新京で正月します

新京地方委員會議長 大原萬千百氏 仕事の都合でどうなるか判りませんが、新京で正月する予定す

朝鮮總督府出張所 堂本貞一氏 氏は目下家族呼寄せのため歸鮮中

同 服部伊勢松氏 堂本さんが居ないので留守番します、まだこちらに來たばかりで本當の正月は出來ません

滿洲經濟事情案內所 奥村義信氏 大連に家族が居ますので大連で正月します

商工會議所議員 寺內清次氏 新京で正月します

上原校長 冬休みはどこにも旅行しません、悠然として休の養生です、それではあの方も？いやそれはお正月だからお客の接待やお屠蘇に應じます

今樣ロ入浦島太郎

十四年前匪賊に拉致され 逃れ歸つてみれば親は不明

新京署へ保護願出

今から十四年前匪賊に拉致された露人男サーワピフサリフ(二二)が一週間前父母戀しさのあまり賊團の群から逃がれ新京に到着したが、兩親は既に新京を出發しハルビンに行き不明となつてゐるため二十七日新京署に保護方を願出た悲話がある……サーワピフサリフは八歳まで新京で兩親と一緒に何不自由なく暮してゐたが、ある夜匪賊團が襲ひ現金を强奪した末サーワピフサリフを拉致し行も知らない田舍に連れ行かれ以來賊團の一味で農業に從事してゐた二三年前から父母が戀しくなり逃がれるべく機會を見てゐたが容易に逃がれることが出來ず毎日苦しい日を過してゐる內一週間前頭目穆長樹は部下五十名を連れ村を出たのを機會に飛出し五日間一生懸命で逃げ新京にたどりついたが十四年前の新京とは全く變り果ててゐるためたよる人もなく新京署に保護を願出たものである

けふ小學校 第二學期終了式

けふでいよいよ第二學期を終へたか學校では室町、西廣場兩小學校とも午前九時から終業式が行はれ學校長から式辭、お休み中の注意などがあつて後教室に入つて受持ちの先生から通信簿成績品を戴いて午前十一時歸宅した。もう新京では新京公學校が殘つただけで全部休暇となつた、公學校も三十一日から休暇になるはず

祝町の小火

二十七日午前九時五十分ごろ市內祝町二丁目四番地植田鑿之助氏方から出火したが直ちに新京消防隊員が急行消火に努めたため同十時五分鎭火した原因はストーブの過熱で溝園に引火したものである

新京圖書館 來春六月改築

現館の裏に二階建で

新京圖書館は目下圖書の置場と閲覽室が一しよになつてをり事變以來の人口激增によつて圖書の閲覽者も漸次增加し最近では日平均二百九十余名となつて全滿二十四ケ所の圖書館中第一位をしめて居るが今日の狀態では甚だしく閲覽室の狹隘を感じてゐるので滿鐵では經費二萬圓で明年六月から現圖書館の裏側空地に地下室一階上層一階の圖書庫を新築し九月には竣工の豫定である、竣工の曉は現在の閲覽室を擴大すると同時に一般向の書籍も相當購入して閲覽者の便を圖る方針であると

驛前諸車停止線 近く作る

新京驛手小荷物事務所前屋根增設工事竣成後いよいよ驛前の諸車停止線をハツキリつけて洋車、馬車などの混亂、雜踏を緩和すべしと新京署、新京驛兩者で協議實施中であるがなほ手小荷物事務所脇の馬車停止線附近は未だに混雜を極めるので新京驛ではこの點について研究をなし交通事故を未然に防ぐやう努めてゐる

懸賞募集の 新町名 ダイヤ街

かねて梅ケ枝町、永樂町、老松町一帶の市街地に於て新町名を募集中であつたが左の如くダイヤ街と決定、二十九日皇太子殿下御命名の佳日を期して命名式を擧行することゝなつた、尚當選者左の如し

一等ダイヤ街　永樂町二丁目　宍戸　今
二等新興街　祝町二丁目　黑田　一男
三等百貨街　高砂町二丁目　池田　武光
同中央商店街　日本橋通二一　黑岩　武雄

局展望車を新造

一月一日より奉山線に配置

【奉天國通】奉山線の第百十一、第百十二兩列車は鐵路總局所管中の唯一の急行列車であるが、總局に於ては豫てより右列車に展望車を連結すべく沙河口滿鐵工場に於て總經費廿一萬圓を投じ、展望車三臺を新造中であつたが、この程完成したので右三臺の中二臺を前記兩列車に連結し、明春一月一日より運轉を開始することゝなつた　尚右展望車は現在滿鐵線に於て使用してゐるものに比し設備其の他の點に於て遙かに嶄新的なもので、早くも各方面から期待されてゐる

邦人殺しの 犯人逮捕

本年六月卅日午後十時ごろ吉林省九臺縣飲馬河畔住宿藤巖長氏が二名の滿人强盜に襲はれモーゼル拳銃支那庖丁で目茶苦茶に殺された事件に關しては爾來同署では引續き捜査をなしてゐたところ殺害犯人楊銀(三八)周洪(三〇)が飲馬河に立廻つた事實を突止めたので同署原警部、谷口、大家內刑事は二十六日現場に急行し午後九時三十分ごろ同地古賀梅雄氏方に立廻つてきたところ逮捕した

街の日記

日滿名派聯合 クリスマス祝賀 明夜日本基督教會堂で

二十八日午後五時半から中央通り日本基督教會堂で日滿各派基督教徒の聯合クリスマス祝會を開催日滿兒童の唱歌、舞踊等多數あり

富士屋タクシー 新ガレーヂ

從來のガレーヂでは狹隘を訴へることもに自動車の數も不足を感じてゐた中央通り富士屋タクシーでは今夏以來蓬萊町に新式ガレーヂの新築中であつたがいよいよ二十五日竣工を見自動車も十八台購入して益々進出すべく準備中であるが二十六日市內各方面關係者多數を大和春に招待し新ガレーヂ落成披露の宴を張つた

同情金品を配布

新京總領事館署では二十八日午後一時から管內貧困者內地人七名朝鮮人二十一名に同情週間で寄せられた金品を配付することになつた

寄附

寛城子雜貨商川上才二氏は二十六日餅一斗を貧困者に寄附した

拾ひもの

▲錦町一丁目大丸旅館客引馬起雲氏は二十日午前七時ごろ驛構內で腕卷時計を拾つた
▲西廣場小學校三年生常本貢さんは二十六日午前八時三十分ごろ同校庭でブック製鞄(小學校用)を拾つた
▲新京署長谷川巡査は二十六日午後一時三十分ごろ新京郵便局內で二ツ折財布在中現金一圓名刺二枚(岸本二郎、津々見貞)を拾つた
▲梅ケ枝町四丁目三十一番地弁戸茂一氏方秋猖住次氏は二十六日午後二時三十分ごろ新京郵便局內で現金十圓を拾つた
▲新京署長谷川巡査は同日午後四時ごろ新京郵便局內で現金六十錢を拾つた
▲新京城內增生和客馬車夫黃利從氏は二十六日午後四時ごろ風呂敷包一ケ在中現金二圓九十錢手袋鞄を拾つた

落しもの

▲中央通四十番地大同工業寫眞株式會社補田春松氏は二十六日午後零時三十分ごろ西公園派出所前で補充兵證書を落した
▲和泉町三丁目ハルビン建築事務所出張所有馬政治氏は二十六日午後一時滿鐵消費組合前で現金二圓印鑑を落した
▲常磐町三丁目十二番地堀越美代子さんは二十三日午後一時ごろ自宅から吉野町二丁目に行く途中ハンドバツク一個現金一圓を落した

盜難屆

▲永樂町三丁目十番地陽滿洲氏方へ去る五日から二十五日の間何者か侵入し二階六疊の間の簞笥中に入れてあつた現金二百六十圓を竊取された
▲梅ケ枝町一丁目十四番地小林岩夫氏所有自轉車一台時價二十圓廿六日午後九時三十分ごろ自宅前で竊取された
▲北十條村上止五輔氏所有の馬二頭二百圓が同日午前一時で五里堡松嶺猟業馬小屋で竊取された

ラヂオ

二十八日（木曜日）新京
午後五時〇分子供の時間（奉天より）
同　五時三〇分ニュース（英語）
同　五時四〇分ニュース（露語）
同　五時五〇分ニュース（鮮語）
本年內は本日で一時中止致します
同　六時〇分ニュース（東京より）
同　六時二〇分ニュース氣象豫報
同　六時三〇分講演又は演藝（東京より）本日より卅一日迄時間を新設致します
同　七時〇演藝（滿語）
同　七時三〇分講演（同）
同　八時〇分ニュース、氣象豫報、プロ豫告（滿語）
同　八時三〇分時報ニュース（東京より）
同　八時四五分演藝キヤピタルダンスホールより中繼ダンスとユーヂタブ引續明日のプログラム豫告

野菜相場

十二月廿八日

品名	單位	卸價
葱	百匁	一〇—一二
ワサビ	同	一五〇—一八〇
ウド	同	三五—五五
蕪	同	一〇—二五
午蒡	同	六—一三
人參	同	六—一四
白菜	同	八—一六
蓮根	同	一五—二二
タツイ	同	三五—五五
水菜	同	一〇—一八
玉菜	同	三〇—四〇
シヤクシ	同	八—一五
菜	同	[illegible]
ホーレンソウ	同	八—一六
サ[illegible]ウ	同	八—一六
フダンソウ	同	八—一六
サ[illegible]	同	八—一六
玉葱	同	八—一三
馬鈴薯	同	四—一三
里芋	同	八—一三
山芋	同	一五—二二
サツマ芋	同	六—一四
大根	同	七—一四
赤大根	同	[illegible]
フキ	一把	—一〇
シヨウガ	一把	[illegible]
ミヨウガ	一把	一八—二五
松茸內地	百匁	一〇〇—一七〇
朝鮮同	同	八〇
カボチヤ	同	一〇—一八

新京キネマ

本年お名殘り週間
阪東妻三郎 快演 **片腕仁儀**
盲目の母と仁俠渡世の臺場の宗太郎が片腕十兩の恩儀故に拔いた白刃の鮮烈さ…！泉清子、淡路千夜子の共演になる豪快篇
市川玉太郎 主演 **浪速忍術修業**
可憐泉靜子の **南地囃し**
二十八日より毎日晝夜

慶安異聞 艶魔地獄

（講談上演映畫化）

玉水三郎

（畫）長谷川小信

（百三十二）

職業競（四）

「兄さん、ゐるの」

破れ戸をガタゴトと開けたお八重は、入ると一間切の家の内を見廻したが、反古張りの二枚折の屏風、其向ふは押し入れで、上りかまち直ぐの所に、兄は大胡坐をかいて、今戸燒の火鉢で、酒の燗をしてゐた。

「お八重か、だしぬけに來たな。何處から何とか言ヤア、御馳走もしやうものを……アッへゝゝへ」

「お生憎りで御馳走ぢやないか。いつでも極まつてるね」

「ウム、君は例の煮豆に、お生蕎だ……コレでよけりや一杯何うだな」

「兄さん、私や御馳走持つて來たんだよ……さア一升」

どんな立派なお座敷よりは、私ア氣持が好いんだよ」

お八重も故意と笑つて、

「さうですとも、私の兄さんの家だつて、男世帶ですもの、加之も子供があるんですから、座る所も散らばつて、足の踏込み所もないんですもの」

斯う言つてゐる中に、お蓮は兄の傍に坐つて、一升徳利から燗鍋へ酒を移してゐる。

其處へ仕出し屋の出前持が、膳拵を持込んで。

「エ、酢の物と甘煮だけ持つて參りました。膳は直ぐ又持つて參ります」

「御苦勞樣、若い衆さん三人になつたから、膳の物は、みんな三人前にしてお呉れよ」

「ヤア、こりや有難え」

「其代りお客樣を連れて來たよ」

「ナニ客だと、誰だ、若しや錢形の旦那ぢやねえか」

「冗談お言ひでないよ。旦那が何でこんな穢い家へお出でになろう——あの實は私のお友達で、やつぱり天職樣の中にゐる人なんだよ」

「オゝさうか……誰か知りやせんが、さア此方へお上んなせえ。何うも穢ねえ所で……」

お八重は言ひ出して、土間へ足は入れたものゝ、餘りの貧家なのに一寸躊躇した。

それは小島三平の、貧乏に比して又一層の家の内、道具らしいものは一つも見當らず、膳もなしに竹の皮の包みを開き、茶碗で酒を呷つてゐる姿に、モヂ／＼して這入る氣色はなかつた。

「お八重ちやん、汚だらうけどお上りよ。男世帶だから蛆が湧いてるよ。けれども自分の家となりやア

「へイ、是まりました」

お八重は煤けた行燈の灯に、そつとお蓮の兄といふ男の顏を偸み見た。

年齡三十二、三とはなるまい、眉の太い尖り鼻の、然ら顏で頸に青髭の痕が見えて、眼には險ふ隈がある。頭は五分月代で、髷は振が強んで、後背へ三分通り傾れてゐる。そして縞羅紗の袷に、白地の浴衣を襲ねて、入嶋の三尺帶を腋で結んでゐる。

何う見ても普通の人間ではない、職人とすれば何職か、恐らく大工左官ではあるまい。お八重は吉原でチョイ／＼見受けた遊び人——博徒の風體と見て取つた。

「ヤアこりや大變な御馳走だな」

さうして胼胝は來て下さるし、こりや無縁へ臨だ。マア兄も俗御膳走にならうよ」

「兄さん、こりやお八重さんの奢りなんですよ」

十二月廿八日　舊十一月十二日　木曜　戊辰　佛滅　定　室宿

●一白の人　人と衝突せぬ樣柔和を肝要とす又飲食注意　辰と亥と癸が吉

●二黒の人　知己朋友のため一苦勞を生じ失費多大の日　丙と丁と庚が吉

●三碧の人　餘儀なく押し附けらるゝ事に依り迷惑多し　乙と丙と壬が吉

●四綠の人　物事輕忽に行ひて失敗を招く短慮を戒しむ　壬と辛と癸が吉

●五黄の人　急激の變化を生じ易き日細心の注意を要す　丙と亥と丑が吉

●六白の人　業務の繁榮衆人の引立等勵めば益增大の日　申と亥と寅が吉

●七赤の人　謙言口に苦しさて退けざれば名利を博す日　辛と戌と亥が吉

●八白の人　親交事一に處すれば萬事順調に進展する日　戊と亥と丑が吉

●九紫の人　運氣良好なり輕動して傷かざるが肝要とす　甲と乙と辰が吉

第二一號

告示

昭和九年一月一日午前十時ヨリ同十一時迄大使官邸ニ於テ拜賀式ヲ擧行ス

右告示ス

昭和八年十二月二十六日

在新京總領事　吉澤清次郎

新京日日新聞

日印會商に再び大暗影
新雜貨關稅法案に
我當局は强硬
近く代表部へ訓電

〔東京電通〕デリー會商が最近漸く進捗し、大團圓も近しと觀られてゐる際ボーア長官は爲替低落國の攻勢より國內產業を保護する手段なりと稱して、二十三日突如印度議會に雜貨關稅の引上げ案を提出したことは本邦官民側當局に

＝甚大＝なセンセイションを與へ、デリー會商に再び一大暗影を投ずるに至つた、此の形勢を察した英國大使館では商務官マツクレー氏を二十六日午前十一時外務省に來栖通商局長を訪問せしめ、陳辯大いに努めしめたので、來栖局長は午後二時商工省より吉野次官、黑田貿易課長の來訪を求め若松會計官と協議し、マツクレー氏の辯明を傳へると共に印度側に誠意ありや否や、雜貨關稅引上げの及ぼすべき影響如何の二點に關し詳細な檢討を爲したる後、當業者の意見を聽取した上本邦の

＝最後＝的方針を決定することゝなつた、更に目下東上中の阿部委員長は招きに應じて來栖局長を訪問し强硬な當業者の意見を開陳し今回の關稅引上げが特に日本品を目指して行はれたものなる事を指摘し飽くまでも關稅率の變更を要求すべきだと述べたので、來栖局長も大いに動かされ近日中に外務首腦部と協議した後デリーに於ける我代表部へ强硬な訓電を發することゝなつた

印度側の再考を促す爲

〔東京國通〕日印會商に關し外務省は會商と併行し印度側の再考を求むる方針を決定し二十六日澤田代表に宛て左の如く訓電を發した

一、協定年度に就て曆年度制の採用を主張し、明年一月一日より三月末日までの期間に關し初年度に關する限りのものとして便宜協定を應諾する用意あること

一、雜貨關稅引上げに關して印度議會で協贊に附するまでの六十日間の執行期間に印度側で、日印貿易の現狀に鑑み再考を重ねられたきこと

澤田代表から强硬意見開陳
ボーア長官との私的會見で

〔デリー國通〕澤田、ボーア兩氏の私的會見は二十六日正午頃開かれる筈であつたがボーア長官が外出中であつた爲め午後大時四十五分より私邸で行はれた內容は極秘不明であるが

＝大體＝次の如く傳聞する、即ち澤田代表は訓令に依り左の如き提案をなした

一、第一年度綿布クオータ最初の四億を撤回して新に本年四月以降九月に至る間に於ける印棉買付實數及び來年一月印棉不買が繼續されるものとして一月より三月末に至る間の買付協定一ケ月につき十萬俵と觀て合計約八百四十萬俵となるからこれを基準として綿布は三億八千五百萬ヤードを要求する

一、爲替條項に關しては成稿の妥協案を提議する

これに對して印度側は第一項は考慮を約し第二項は既に決定したものとの理由で婉曲に拒絕した、而してボーア長官は懸案たる品種別の協商率に關してボーア長官個人の私見として「若し日本側が凡ての條件を容れるならば原則として一般一割、但し晒及び捺付生地に限り二割の融通を認めてもよい」旨を述べた依つて澤田代表は再考を約し、次いで今回の關稅改正は未だ研究中だが可成り苛酷なものあるやうだから制明事によれば何とか考慮することもあるべしと答へ[illegible]をるして會見約一時間、午後七時五十分終了した

澤田代表
ボーア氏訪問

〔デリー二十六日發國通〕澤田主席代表は二十六日午後七時二十分商務長官ボーア氏を私邸に訪問し私的交渉を遂げた第一年度分綿布輸入量割當決定其他につき最後的の交換を遂げたものと見られてゐる

賀陽宮恒憲王殿下
歐米御視察に
明年三月に御出發

〔東京電通〕滿洲事變勃發のため歐米御視察御延期中の陸軍大學教官騎兵少佐賀陽宮恒憲王殿下には來年三月附武官楠瀨中佐を從へさせられ御出發に決定した

在米大使館參事官
藤井氏と決定

〔東京國通〕オランダに轉任する武富駐米大使館參事官の後任として齋藤新大使の女房役となる參事官は擇ねて詮衡中のところ現在獨逸大使館參事官藤井啓之助氏に決定、二十八日發令の筈である

關稅の不統一に
各方面で對策

大連港の輸入貨物增加に伴ひ大連稅關の檢査事務は敏速を缺き奧地向け貨物は依然輸送遲延勝ちなるが、奧地荷主側は稅關の賦課が區々で同一貨物でも送付時に依り五割乃至十割の相違があり依つて高率の時は止むを得ず發送先に變更し改めて再送せしむる狀態にある爲め商機を逸する場合多く此課稅の區々に依る迷惑を蒙る事一通りでなくこれが改善方を協議中である

▲訂正　廿七日附朝刊一面「大金鑛發見」の記事中「七十」とあるは「十萬分の七十」の誤記につき訂正

御下賜眞綿授與式
憲兵隊本部で

二十七日朝九時憲兵隊本部に於て附屬地、城內、吉林、鄭家屯、各分隊代表者を集め馬場隊長より皇后、皇太后兩陛下御下賜の眞綿授與式が行はれた

全院委員長に
本多氏豫定通り當選
松岡氏の辭任も承認さる
きのふの衆議院

〔東京電通〕二十七日衆議院は全員起立の中に秋田議長「朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス」との陛下よりの勅語を奉讀した、次いで秋田議長は松岡洋右氏の議員辭任の件を議題に諮り辭任申出の件を書記官をして報告せしめたる後衆議院規則第六十八條に依り討論を用ひずして可否を問ひたるに異議なくこれを承認、それより全院委員長の選擧に移り堂々巡りをなし開票の結果既報の通り政友會の本多貞次郎氏が當選、次で日程第二の常任委員選擧に入り、議長より常任委員は各部に於て選擧の上、議長の手許まで報告されたしと宣し、休憩の後議長は各部に於て互選したる常任委員の氏名を書記官をして報告せしめた、後議長は各常任委員長並に理事を夫々各委員會で互選の上、議長の手許まで報告されたしと述べ、更にこれにて年內の議會を打切り來春一月二十日まで休會します、と宣告し、午前十一時五十五分散會した

年內納めの兩院
德川、本多の兩氏が
全院委員長に當選

〔東京國通〕年內納めの貴衆兩院は共に午前十時開會、二十六日報道の通りの順序で議事を進め、貴族院では德川圀順公が投票總數二百十票を得て全院委員長に當選した、衆議院では總投票三百卅八票の中二百十八票で政友會の本多貞次郎氏が當選し、次で各部委員長の選擧を行つた

樞密院會議
々事內容

〔東京國通〕本年最終の樞密院會議は廿七日午後十時半より開催され倉富、平沼正副議長以下各顧問官、政府側より齋藤首相各閣僚參列、天皇陛下御親臨遊ばされるや倉富議長開會を宣し

一、外務省官制中改正の件　即ち外務省に調査部を設置する件で附則には公布の日より之を施行する事になつてゐる

一、外交官及び領事官制中改正の件　即ち幣原外相時代の人事行政の非難に鑑み同官制第十條第五項を削除し、將來外交官にして外務次官、外務省各局長、情報部長又は文化事業部長を兼任するを得ざる事に改正するものである

以上二項を伊子審査委員長より報告討議の上結局原案通り可決、正午散會した

豫算委員長
に前田氏
政友總務會台

〔東京國通〕政友會の望月、島田、東、松野各總務、山口幹事長は廿六日夜某所に會せ、今日選擧の全院委員長並に常務委員各候補者選衡に就き協議の結果、各委員長は全部自黨で獨占の方針の下に左の通り決定、廿七日午前十時院內で開會の幹部會及代議士會に報告、承認を求める筈である而して今日豫算委員長を前田米藏氏としたのは議會政治について兎角言はれてゐる今日特に豫算の審議に重きを置いた結果である

各委員長候補　全院委員長本多貞次郎氏、豫算委員長前田米藏氏、決算委員長丹下茂十郎氏、懲罰委員長熊谷直太氏、建議委員長山本愼平氏、請願委員長宮川一貫氏、政務調査會長若宮貞夫氏、副會長山崎猛氏、加藤鯛五郎氏、太田正孝氏

外務調査部
分課規定決定
來年早々公布せん

〔東京國通〕懸案の外務省調査部は二十七日樞府の可決を見て愈よ來年早々官制公布と共に、成立する事となつたが、調査部の分課規定は左の通りである

第一課　總務外交事實の調査を司る
第二課　外交々渉の記錄及び資料の調整
第三課　亞細亞及び近東に關する政治外交調査
第四課　歐州及びアフリカ、南洋關係
第五課　南米大陸關係の政治外交調査を司る

陸上部隊も
續々移動開始
空軍の活動に相和す

〔上海二十七日發國通〕十九路軍航空部隊の無力に乘じ中央軍側は頻りに空爆に依り後方攪亂を續けてゐるが、中央軍空爆の根據地は溫州に在り福州、漳州の爆擊に力を盡し福建にも數日前新飛行場完成し、既に十數臺の飛行機集結した、一方陸上部隊は十二師が二十三日杭州經由江山に向ひ、第八八師も杭州より移動を開始し、第二師、五十七師、六師及び劉珍年の舊部下等を併せて浙江への動員部隊は總兵力四萬五千に達した

延平を占領
南京側の發表

〔南京二十七日發國通〕南京政府軍當局は劉和鼎は二十五日に延平を占領したと發表した、延平は福州を去る百支里の地點にして汽船により七、八時間、陸路一日行程である

蔣介石氏
杭州で作戰を練る

〔杭州廿七日發國通〕蔣介石氏は剿匪を中止し、廿六日午後杭州着以來孔祥熙氏、浙江省主席魯滌平氏、航空處長徐培根氏等と作戰を練る傍ら自身飛行機で戰線視察を行つた蔣介石氏到着により杭州は事實上の大本營となり、既に高射砲聽音機監視所機關銃等完備し、異常な緊張振りを示してゐる

卅九軍長任命

〔南京二十六日發國通〕本日の行政院會議で劉和鼎を第三十九軍長に任命の件可決した

劉桂堂自由行動

〔天津廿七日發國通〕劉桂堂は屢々軍事分會に日本飛行機の爆擊並に日本軍の關內侵入を報告しつゝあつたが、右は地盤獲得のための宣傳で遂に赤城より西南方に自由行動を開始した、チヤハル民政廳長秦德純はこの旨宋哲元に報告對策を協議中である

十九路軍と
共產軍の盟約
內容遂に暴露さる

〔福州廿七日發國通〕十九路軍と共產軍の盟約に就て左の事實が判明し、其の提携は愈よ明瞭となつた、即ち十九路軍第一方面軍總司令蔡廷楷氏は去る十一日漳州に於て共產軍代表朱德、彭德懷等と會見し閩西、閩南共產軍管理區域に就て第一期は龍巖一帶第二期は南靖和、平雲、寄詔、平一帶、第三期は漳水地方と決定したが現在既に第三期に入り南靖以西には十九路軍の一兵も無く、全部共產軍に管理されてゐることが明瞭となつた廣西共產軍は之により海港獲得の希望を遂し漳州を得たことに依つて廣西への兵站線を完全に確保し、廣西共產軍の擴大强化に偉大な効果を齎らすものである

齋藤首相
葉山の別莊
で越年

〔東京國通〕齋藤首相は二十九日東京市主催の皇太子殿下御誕生奉祝會に參列し更に御命名式參賀の爲參內の後、夕刻夫人を伴ひ葉山別莊に赴き同地で越年、新年を迎へ三日夕刻若くは四日早朝歸京、當日宮中に於て行はせらるる政治始めに參列する事となつた

調査部の
陣容
堀內氏部長に

〔東京國通〕別報の外務省に新設される調査部は二十八日を以て官制を公布することゝなつた、部長の下に五課を設けるもので初代の部長には現ニユーヨーク總領事堀內謙介氏、課長には前米國大使館一等書記官孝[illegible]、公使館一等書記官加藤三郎、大使館一等書記官山形清の三氏を任命、二十八日正式に發令されることゝなつた、尙ほ堀內ニユーヨーク總領事が歸任するまでは重光次官が部長を兼任することゝなり更に課長二名をも任命されることゝなつた

土建界にも
待望の新年
工事も三割近くの增加か

今年千五百萬圓近くの工事があつたが、來年は果して如何であらうか？今年着工されて滿鐵附屬地の道路不良で、意外に遲れた大工事が來年まで持ち越されるのと、來年新しく着工される綜合運動場や滿洲國官廳、三井ビル、東拓支店等の民間大建築が多いため少くとも今年の三割近くの增加となる見込みが樹てられ工事の最盛期も六、七月頃と見られてゐる又勞銀は今年後半に至つて奧地の工事が終了して苦力がドツと新京に押し寄せたに拘らず手不足を來した位で、明年は、各地から集めて來ても今年より廉くなることはあるまいと見られ、煉瓦も今年の一億二千五百萬本が、約二千五百萬本明年に持ち越されてゐるので、明年工事着工期の品薄の懸念は全然ないが、相場は赤一錢二厘乃至一錢現場渡し一錢八厘より値上げはせぬであらうが、後半工事最盛期の需要增加で幾分騰貴するであらう、とまれ明年の土建界も諸部建設工事進捗と共に當業者待望の新年である

柞蠶界
好望
年產額一千百萬圓

滿洲特產物の一つたる柞蠶は安東を中心に三角地帶東邊道が主要產地で年產額一千萬圓の巨額に上つてゐるが蛇[illegible]の如何に依り產出の增加を見るものとして大に期待されてゐる、この生產品の大部分は安東經由福州、岐阜、京都等各都市に輸出、絹、紬に製織されて歐洲、滿洲に輸出されるが價額は年二千萬圓に達し世界的商品になつてゐるを以て商品の品質統制の必要あるに鑑み日滿當業者協議の結果安東に柞蠶工會檢查所にて一齊に檢查を行ふ事に決定農林省技師小池茂十郎氏が安東に赴き檢查所施設及び其他の設備に着手してゐるが、不正品絕滅なく品質も統一され製造業者との取引も漸次激增する見込である

近海郵船で
大連、長崎鹿兒島
間に優秀船專用

日本郵船會社の分身たる近海郵船會社では今回大連、長崎鹿兒島相互間に新に快速優秀船千歲丸を專用し每月三回の定期航路を開始することゝなつた同航路は滿洲と西、南九州を連絡する最短のもので新しい近道が出來た譯である、運賃も非常に低廉の由である

千歲丸は總噸數二千七百噸最强時速十五浬を有する客船で船客は特等四十六名並等二百十二名を收容する設備を有し客室は廣く明るく食堂、喫煙室等完備して居る、定期は每月三回で鹿兒島發每月五、十五、廿五日午後一時、長崎發每月六、十六、二十六日午後二時、大連發每月十、二十、三十日午前十一時で大連長崎相互間は二晝夜足らずの航海時間である、尙省線九州線各驛と大連間は長崎接續船車連絡切符の取扱が出來るので一層便利であらう、因に初航は鹿兒島發一月十五日長崎發一月十六日大連發一月二十日である

大山法務
局長出發

大山關東軍法務部長は今回陸軍省法務局長に榮轉二十七日午後四時三十分發列車で赴任の途についた、ホームには關東軍法務部員、關東軍將士多數の見送りあり時ならぬ賑ひを見せた、なほ大山氏の後任には竹澤名古屋師團法務部長が近く來任のはず

年末の大賣出しも爆發的大人氣
看板や廣告にも珍文句續出 目を索く街頭風景

爆發する皇太子殿下降誕のお目出度人氣で、市中の賣出しは豫想外に人氣良く、賣行きも約六、七萬圓と觀られてゐるがそれだけに商戰必勝虎の卷とも云ふべき看板や廣告にも奇抜なものが現はれ祝町の宮本洋服店は「正札より一割引」として同店の正札が一割引けることを發表してゐる、又東二條通金山工務店は「正月しめ繩安賣」として繩を賣出し大和洋行が「あなたのフルーツの店」エヌエス、ペトロフ商會が「ペトロフの歲末大賣出し」富林洋行が「年末年始特別サービス」「石炭界の驚異」等、相當苦心された珍文句が並べられて行人の注意をひいてゐる

水道管凍結を防ぐ電熱器の取付
此ごろ多い破裂騷ぎもこれなら大丈夫

零下數十度の酷寒が到來すると共に、市中住宅の水道管が凍結破裂して一日多きは八十軒少い日でも十四五軒の被害があり、殊に滿鐵代用社宅から陸軍官舍、警察巡捕官舍等北西方面が被害が多く地方事務所水道係に對する抗議は每日ヒツキリなしに申込まれ、市瀨工務所では、それ等の修理に追はれてゐるが水道係では、今回滿電と合議の上水道防凍電熱器を取付けるやう獎勵することとなり二十七日午後滿電に於て市瀨工務所員と三者合議の上

防凍電熱器 六十錢
コード 四十五錢
二灯用ソケット 三十錢
差込プラグ 二十錢
計 一圓六十五錢

の器具代と市瀨工務所の僅かな取付手數料及電氣料及電氣料定價一ケ月五十二錢一日當り一錢七厘で、完全に凍結を防ぐことが出來るが、現在一度水道が破損すれば最低一圓八十錢、最高五圓平均三圓の修繕料が要るのに比し器具代は別として每月五十二錢で濟むわけである、尚此外炊事場が室內にある場合は室內を充分溫めることが一番良く電熱器の取付けも簡單であるので滿電で相談して自宅で取付けることも出來ると

御命名式當日近づき佳き日を待つ小國旗

御命名式の當日旗行列用の小國旗が地方事務所に山と積まれて佳き日を待つてゐる

新京弓道部射始式
二日午前十時 滿鐵弓場にて

新京弓道部は今春以來著しく發展をなし部員は何れも練習に餘念なく此の最寒にも屈せず日々修養鍛錬し殊に下溝、井上の各元老又熱心に指導に當り居る結果、部員の意氣沖天の勢にて腕を扼し虹の如き氣を吐き居りしが來る一月二日には吉例により午前十時より滿鐵弓場に於て射始式を舉行する豫定で目下部員が準備中である同日は式後金的並に競等の餘興的もある由なれば定めし盛況を呈することであらう尚ほ當日は部員外の希望者も大に歡迎するとのことであるから新京研究者は振つて參會するやうにせられたいと

輸入組合に商事技術部
高橋忠氏が主任に就任

新京輸入組合では、今回商事技術部を新設主任として元滿鐵社員高橋忠氏就任、專ら市內商店の飾窓改良、廣告文案作製新聞廣告原稿の作製等技術的な事業を行ひ、輸入組合加盟店に對しては材料代だけの實費で便宜を圖ると

痛々しい凱旋
白衣の勇士たちがきのふ內地へ出發

二十七日午後三時二十五分着列車で步兵第〇〇隊傷病兵十九名は井上大尉以下三名の附添ひ戰友に看護されつゝ來京した、ホームには加藤新京衛戍病院長始め在鄉軍人會、婦人會、修養團、女學校その他多數市民の出迎へあり十九名中二名は重体にて步行出來ず擔架にて一等旅客待合室まで擔ぎこまれた、傷病兵休息所に當てられた一等待合室では婦人會から贈られた茶菓の接待をうけしばし休憩その中には腰をかけるのすらつらい樣な痛々しい青ざめた兵も見受けられた四時ごろ新京衛戍病院に入院中であつた傷病兵七名が歸に送られ一同と合して直ちに四時半發の列車の後部から三輛目の客車に乘り込み小林一等軍醫が附添ひの下に淋しく白衣のすがたで南行出發した、一行は公主嶺、奉天、鐵嶺、遼陽の白衣兵と一緒になつて內地へ輸送される

協和會宣撫班一行
札蘭屯より歸る

〔ハイラル國通〕本月下旬より札蘭屯方面視察に出張してゐた常地宣撫班及び協和會一行はこの程歸哈したが今回同地にて官民等と會見し同地方治安維持工作につき具體的協議を遂げた結果、元來札蘭屯方面に勢力ある蒙古人と同地方民との親睦融和の必要を痛感し且つ一般民族の王道政治普及實現待望の機運頗る强きを認め我宣撫員及び協和會事務局においても之が實現促進を決定し目下種々對策協議中であるが、遲くも明春二月頃には同地に「滿洲國協和會コロンバイル事務局札蘭屯分會」の實現を見るであらう

名士の漫談（七）
紺屋の白袴
本には中毒です
新京圖書館長 木下助男氏

記者「本はいくらでも讀めるわけですね」
木下氏「本の中へ坐つてをりますと本の中毒にかゝりまして却て讀めないものです」
記者「紺屋の白袴といふところですか」
木下氏「まあそんなところでせうね」
記者「月々どのくらゐ書籍を購入されますか」
木下氏「五千圓內外です」
記者「今何冊ぐらゐありますか」
木下氏「二萬冊はありませう、價格にすると新聞雜誌もありますので八萬圓ぐらゐにはなりませうか……」
記者「どんな種類の本が一番よく讀まれますか」
木下氏「やはり文學ものであります。こゝは滿洲における政治經濟の中心地となつてゐる關係か最近は政治經濟方面のものも相當讀まれ建築方面のものも多いやうです」
記者「滿鐵附屬地の圖書館に比べてあまり劣つてはゐないのですか」
木下氏「內地の圖書館の圖書は人口十人に對して一冊、所によつては二十人、三十人に對して一冊の割合になつてゐるところもありますが滿鐵の方は人口一人に對して書籍〇、七といふ割合でその點は非常に充實してゐるわけです」
記者「本の番人もよいですが趣味の方はどうです」
木下氏「なんでもやりますが但しどれも下手です」
記者「煙草はのまれないやうですがお酒はどうです」
木下氏「酒なら下手ではありませんが、どうもこゝは酒が高いので困ります」
記者「別に高い內地酒を飲まなくても地酒にされたらどうです」
記者が一くさりまくしたてた地酒禮讃論に木下氏大いに感銘
木下氏「そうですかそれなら私も心を入れかへて今後地酒黨になります……」と

北鐵運賃値下げの街頭示威運動
ハルビンで行はる

〔ハルビン國通〕日滿商業聯合會を中心とする北滿各地の經濟諸團體の北鐵運賃值下並びに之が金ルーブル建打倒運動は決議文或は聲明書の形で進められつゝあつたが去る二十二日の商議聯合會の決議文に對するルディ局長及びバンドウラ副理事長の責任回避的な不誠意極まる回答に從來穩當な一途を辿つてゐた運賃値下げ促進運動は急激なテンポで示威運動化するに至つた、即ち二十四、五兩日を期し在哈各商會により全市一齊に街頭デモが敢行され、二十六日には北鐵理事會及び管理局前の廣場を「打倒北鐵局金ルーブル」のスローガンを掲げた自動車がねり廻り午後三時頃局員の退出時間を見計つてビラを撒布して氣勢を舉げた

北鐵石炭問題解決

〔ハルビン國通〕北鐵石炭問題に關し二十六日李督辦はバンドウラ副理事長代理と會見折衝の結果本年内に三萬噸購入し、又ソ聯側は曩に大金を先取したるまゝになつて居る五萬八千噸を來年中に北鐵に納入することを內諾し、久しきに亘つて紛糾した石炭問題も漸く圓滿解決をみるに至つた

軍用列車の感
昨日の新京驛

二十七日午後四時半發大連行きの列車は恰も軍人列車の感があつた、先づ先頭には新入營者宇野君の出發で「祝入營宇野君」の幟が歡流を押立て日滿小旗を打ち振つて入營兵士の門出を盛大にしてゐる中程の客車には大山關東軍法務部長の陸軍省法務局長へ榮轉のための赴任の途につきこの見送り人は關東軍幕僚士數十名で、後部から三輛目の客車には痛々しい白衣の勇士の凱旋で在京各團体多數の見送りを受けて出發、ホームは時ならぬ混雜を呈した

長春座面目一新
昨日から開演

紛糾を重ねた長春座は既報の如く會社直營にするとゝもに內部の改築をはかるとゝもに松竹キネマ會社と提携し面目を一新し愈よ二十七日から華々しく開演したが同會社では二十六日午後五時から市內有志を多數扇芳ダラムに招待し披露宴を張つた

新京婦人俱樂部發會式 二十六日夜高女にて

新京郵便局の貯金爲替受入
金五十三萬五千圓
年賀狀は百五十萬突破

新京郵便局に於ける年末の雜踏は押すなくの喧騒を極め例年にない大盛況を呈してゐるが二十日から二十六日まで五日間に於て取扱ひたる受入金高は貯金爲替を合して口數一萬二千八百十四口、金額五十三萬五千三百十一圓で、拂出したる口數は一萬千六百三十二口金額四十八萬九千〇六十五圓である、尚ほ同じく五日間に取扱ひたる年賀郵便は九十三萬八千百四十一通で前年の同期間に取扱ひたる四十九萬〇〇二十三通に比し四十四萬八千百十八通の增加を見せてゐるが、二十七日から二十八日への特別取扱期間締め日にかけて投げ込まれる年賀狀は本年五十萬を突破すべく結局新京よりの賀狀は百五十萬通以上と見られてゐる

赤衛軍の策動
西部線列車事件の背後に確證を掴む

〔ハルビン廿七日發國通〕北鐵西部線列車顚覆事件の背後に赤色の魔手がある事は殆んど確實とみられ、沿線一帶の軍警は警戒中のところ計らずも某方面より赤衛軍數名が便衣に武裝し、大興安嶺方面に潛入せりとの情報を得たので直ちに調査を開始したところ果して赤衛兵らしきもの數名が大興安嶺地方の地形を調査した形跡あり、目下追跡中との噂が傳へられてゐるが、若し右にして事實なりとせば成行は極めて重大視される

拉致された邦人釋放さる

去る十二月三日間島八道溝奧にて匪賊に拉致された邦人中川澤八郎氏は、十九日明月溝奧にて釋放され、二十一日八道溝分署に歸來したが匪賊は同人に對し現に監禁中の村上新八の人質料として二週間以內に〇萬圓を持參せよと强要したる模樣である

ロビンソン孃
明晚來京する

今秋シカゴ市に開かれたシカゴ博覽會における滿鐵の懸賞に當選した米人フランシスロビンソン孃は滿鐵の招聘をうけ母堂同伴で二十九日午後七時三十分着列車で京城、安東經由で來京、翌三十日午後四時三十分發列車で奉天へ向ふが同孃は滿洲各地を觀察の上歸朝する豫定である

ダイヤ會組織

新興の街として、御命名式の佳日を期して新町名ダイヤ街と命名する同地域の居住者は同街の振興を圖るためダイヤ會なる町內會を組織し、會長に前田伊織氏が就任、居住者の親睦相互扶助を圖ることとなつた、尚事務所は大阪府貿易分館內に置くと

滿電マーケット成績は豫想外

滿電マーケットの十日間の總賣上げは豫想外成績良く、一萬四百四十五圓餘で、一日平均千四十五圓となつてゐる

海軍大學生一行
愈よあす來京

既報、滿洲各地視察の爲十二月廿三日東京を出發した海軍大學校學生廿三名は、數須近藤信竹少將外五名の敎官に引率され、廿九日午後一時五十五分着京するが、一行は直ちに駐滿海軍部に入り、小林司令官に來滿の挨拶を述べ、後菱刈軍司令官を訪問、三十日ハルビン方面の觀察に向ふ筈である

貧困者のため無料診療實施
產婦の入院も無料で受付 博愛醫院の奉仕

新京朝日通博愛醫院ではさきに院長に醫學士上山源六氏を迎へて新陣容を整へ親切丁寧をモットーとして診療に當ることになつたがなほ同產院では一般の無料診療はもちろん一日五名に限つて無料で入院を受付けることに決定、また年末年頭に際しては無條件で無料診療をもなすことになつたが同院としては思ひ切つた社會奉仕振りである

寄附

國道事務所高橋勳一氏は亡妻香典返しを止め父兄會へ廿圓
▲財政部一森宗氏は安東轉勤の爲父兄會へ十圓
▲福田政司氏は奉天轉勤の爲父兄會へ十圓

加藤金保氏
新聞記者招宴

新京地方委員加藤金保氏は二十六日午後六時から吉野町料亭「としま」に在京新聞記者を招待して一夕の宴を張ることろあつた、宴に先立ち加藤氏から

本夕は御多忙中わざわざお出で下さいまして此上ない喜びです、終始私ども一方ならぬ御厄介を相掛け誠に濟まぬことゝ存じますこの一年間、微力端才の身に拘らず何ら間違いなく實に愉快に朗かに暮し得たことはこれ全く各位の御後援の賜物と深く感謝してゐる次第ですどうか今後とも一層の御援助を賜はらんことを切にお願ひします

と丁重に挨拶するところありこれに對し來賓代表の謝辭があつて宴を張つたが多數紅裙連が斡旋して夜の更けるのも知らず午後十時すぎ盛況裡に散會した

居住消息

▲田部清氏（島根縣）第〇〇聯隊東兵〇隊から和泉町三丁目哈市建設事務所へ
▲落石宇一氏（福岡縣）京城から宰町二丁目一番地へ
▲吉野高次郎氏（岐阜縣）第〇〇團司令部から和泉町三丁目一番地哈市建設事務所へ
▲高田義恒氏（千葉縣）錦町三丁目一番地ノ三號へ
▲大森實規氏（福井縣）寄島から東四條通十四番地井上準一宅へ
▲遠藤才次氏（岐阜縣）大連から中央通り三十六地地へ

轉居

▲岸田正平氏東五條通り十七番地から永樂町三丁目十四番地へ
▲內山忠志氏中央通り二十二番地から東一條通二十五番地へ
▲妙田喜八氏梅ケ枝町四丁目六番地から朝日通り七十三番地へ

天氣と氣溫

きのふの天氣は西の風曇後晴
きのふの氣溫は最高零下二一度六分最低零下十二度六分

お正月向き――座敷の飾り方

先づ掛軸、香爐、文筐が筆頭　お供、熨斗台

△掛物は三幅對▽
お座敷と申しましても種々ございますが、ここには書院の飾り方を申し上げませう、先づ掛物は三幅對にいたしまして、中は日の出に鶴等が宜しく、左右は松に竹と云つたやうな、何れも芽出たいものを掛けますと至極結構でございますが、その掛物は生花と同じものではいけないのでございますから、若し松を生けるとかいふ時は掛物は左右を山水に致しまして、別に差支はございません若し又掛物の方をその儘松と竹にいたします時は、生花は梅に致しますと、それでも宜しいのでございますから、其の場合によつて何とも宜しい様に致しますのでございます輪飾りは中にばかり短かく切つてかけておくのであります

△生花と香爐▽
花生は青磁が宜しいかと思ひます、花は前に申しました様に、掛物が松竹ならば梅が一番宜しく、掛物が山水か人物ならば、松か竹ならば結構でございます
花台は四つ足のものに限ります、よく猫足のものをお用ゐになる方がありますが、猫足は一体香爐臺でございまして花台ではないのでありますから、ちよつと御注意申しておきます、さて花生は中央におきまして其の隣に香爐臺に香爐をのせておくのでございますそして花生が青磁ならば、香爐は染附が宜しいかと思ひます、香爐は中に銀葉をおいて、其上に香をおいて焚くのでございます

△お供の飾り方▽
お供は白一尺二寸のものとして一重、其上に菱餅三枚をおくのでございます、そしてその上に橙子其上に海老は水引で飾りをつけるのでございます、そして三方の中にお米を敷きその上にカキとカチグリを入れ、本俵と昆布と裏白とを重ねて、三方の四方に下に引くまで下げるのであります昆布は一寸二分のもの二枚重ねて用ひます、それからユズリ葉、根松の三四寸のもの、ヤブコウジをお供の脇に飾りつけて、一切の飾りが出来上つた上で、違棚の下へおくのでございます

△熨斗台と懐紙文筐▽
熨斗台に俵熨斗を三つ重ねておいたものを、違棚の上におきます、そしてその側に置物を飾るのでございますが、置物は觀音の像又は[illegible]が宜しいのですが、花生が陶器なれば、置物は金か木像でなければなりません、それから其隣に懐紙文筐を飾ります次に六寸の白木の三方に紙を敷きそれにカワラケを乗せておきます、これは違棚が狭い時はお文筐の隣に、霞形の時はお供と並べておきます、銚子はカワラケの隣におくのでございますが、八寸は次の室から持て出るものでございますから、ここには飾りません

△火鉢と座布團▽
火鉢はお座敷が十疊ならば五個八疊ならば三個位を、床の間を上にして程よき處に配置しておくものでございます、そして其の火鉢の側の灰吹きと煙草を添へておき、刻煙草を奉書紙に包んでおくのが禮でございます、座布團は初めから敷いておくものではなく、次の室から持て出るものでございます、若しお座敷の床が狭くて、三幅對が掛けられない時は、掛物は一幅でも宜しいのでございますが、其時の生花のおき出所は、掛物の落款が右にあれば左に、左に落款がある時は右方に寄せておくのでございます、そしてその他の飾りものは、前に申したものを斟酌して程よく飾りつける様になされば、間違ひはございませんのであります

海の外から

□新式だが面白い降雨方法
米國ミシガン州の農民は農作物と甚大なる影響を有つ降雨方法に關し妙案熱鬧中であつたが此の程ミシガン大學教授オー、イー、ロペイ博士の出馬を促し尤もらしい設備を施した、即ち農場の上に二萬七千百五十四ガロンの水を滿載することが出來る天幕布を張りパイプで送水、必要な時に天幕を一搖り、雨降模様を實現するといふ新式な様で面白い方法である

□喫煙家仲間の寵兒無煙焔點火器
伯林に無煙焔點火器が出現喫煙家仲間の寵兒となつてゐる、是れは電氣仕掛けのものであるが三ケ年長持ちする、外日本貨で五十錢と云ふ安價な點から大持てとなつてゐる

□享樂列車でバス大恐慌
米國ヴァーリントン鐵道會社では近く、内部がアルミニウム製、冊側總ガラス張り、肘椅子備へ付けといふ美事な展望享樂列車を製造先づ勤め人乗客の多い郊外線から運轉することとなつたが、輕快瀟洒な點と時速百哩のスピード物である點とが人氣を呼び、バス會社では乗客を奪はれるといふので大恐慌を來してゐる

日本の聖女（舞臺上演／上映）

生田葵　作
南部龍平　畫

二三
誘惑と誘惑（四）

「神山卓之進、其方は、今日捕まり損つたお高や紀伊國屋お春を決して伴天連の一味徒黨であると思ふてはならぬ。あれは子育て觀音の信心者と思ふがよい。所司代の手の者で捕へやうとする者があつたならば、お前は反對して、お高やお春を守護るやうにせねばならないのぢや、判つたか、此のことを深く心に擱附けて忘れぬやうにするがよい。それから今晩お春の後を追うてはならないぞ確に命令けて置きますよ」

さう云ひ終ると、お春は、身を翻へして、襖の明いた大室へは行かず、這入つて來た時の、廊下の方へと出て、それから玄關に出て其處に脱ぎ捨ててある自分の履物を目にすると、誰にも氣附かれないやうに足音を盗んで、表の往來へと出た。

「腕の中で、いひつけたことは、觀音の、力驗を待つて居る。直に解けても、あゝいつて置いたから、後を追ふやうな、氣づかひはない」

お春は、お高から引受けた人別改めも首尾よく果し得たので、足取りも輕く入江の家路の方へと急いだ。

三條の大橋を渡り、川端通りを南へ、四條を東へ祇園の石段をめぐつて下河原へと辿りついた時は、その夜の月の傾き加減で、最早二更を餘程過ぎた刻限であることが知れた。

然うしてやうやく家の前迄來ると、彼女は不圖何かしら或ものゝ氣配を感じた。

「何者かゞ自分の家を、窺つて居る」

そんな感ひがしたのであつたが、その刹那、そばの垣根の陰に、どこと物音がして、黒い影が、[illegible]いた。

「誰ぢや、何者ぢや」

お春は凛とした聲を賭けた。

「……」

垣根の黒影は、お春に聲を賭けられると、何事もいはずにスッと立上つた。

然うしてつかくとちよつと足を止めて居たお春の側へと寄つて來た、すると更に二つの黒い影が反對側の木立の中からあらはれて來て、同じやうにお春の側へと寄つて來た。

前の黒影は恐れ氣もなく、空の月影に透して、お春の顔を覗き込むと。

「お春だ」

と呟いた。

と後の二つの黒影も呟いたと思ふと、前の黒影の手は延びてお春の體に觸かつた。

「あれい[illegible]」

お春が聲を立てた口を後の黒影の一つはおさへ、然うして樂々と三人してお春の體を擔き上げると足に任して驅け出した。

お春は身を藻掻き、口を塞ふで居る手を外して又一聲叫聲を立てたが、直ぐ入代つて汗臭い手拭ひがかぶさつて來て、もう何としても聲を立てることの出來ない猿轡をはめられて終つた。

祇園でも淋しい四下は、既々に家並はあつても、既に寢込んで終つたのか、それとも、お春の叫び聲を聽いても、物おぢしたのか戸を開けやうとする家は、一軒もなかつた

お春を擔ぎ上げた三つの黒影は大鼓樓の方へと走つたが、少し後れて、別の人影がその後を追つて居た。

追ふ影は刀を佩き、既に大小を佩した容態物凄しい若い武士である事を、月の光りは明らかに、地上に描き出した。

品名	一噸（附屬地馬車持込賃共）	半噸	四半噸
撫順塊炭	金十三圓六十五錢也	金六圓九十五錢也	金三圓八十錢也
撫順中塊炭	金十三圓四十五錢也	金六圓八十五錢也	金三圓七十五錢也
撫順特一號塊炭	金十一圓七十錢也	金五圓九十錢也	金三圓三十錢也
同特二號切込炭	金十圓一十錢也	金五圓二十錢也	金二圓九十錢也
煉炭	金十四圓十五錢也	金七圓二十錢也	金三圓九十錢也